

社会資本総合整備計画書【事後評価書】

山口市における中心市街地の居住環境の改善と防災性の向上

やまぐち やまぐちし
山口市 山口市

平成30年3月

C 効果促進事業										■■■■■ 交付金対象外						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	住宅	一般	山口市	間接	山口市	-	中心市街地活性化整備事業	中心商店街の修景整備に対する補助	山口市	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	6	
合計														6		

2. 事業効果の発現状況、目標の達成状況

I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況
 中心市街地内においてマンションの供給が進み地区内人口が大幅に増加したため、1人当たりの公園・広場面積の改善は見られなかったものの、密集住宅市街地における老朽建築物の除去を実施したことにより、居住環境の改善及び防災性の向上が図られた。

II 定量的指標の達成状況	定量的指標	目標値	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
		地区内の除却必要戸数の割合	3.0%	4.0%
	1人あたりの公園・広場面積	0.85㎡/人	0.78㎡/人	本計画期間内において、中市町多目的広場については除却工事まで、地蔵通り沿線広場については沿線権利者との合意形成の段階につき、公園・広場の整備に至らなかった。また、本計画以外の事業である一の坂川周辺地区整備事業により「ほたる広場」を整備したものの、中市町1番地区優良建築物等整備事業及び民間マンション2棟の供給が進み、地区内人口が大幅に増加したことから、目標値の改善は見られなかった。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
 (必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

今後、次期計画期間に予定する事業の内、中市町多目的広場については、利便性の高い広場となるよう周辺住民等の意見を踏まえた整備を進める。
 地蔵通りの沿線地権者との合意形成が概ね図られたことから、次期計画期間の早期に測量設計調査に着手の上、老朽建築物の除去及び道路拡幅を進める。また、相物小路についても、沿線地権者との合意形成を進め、老朽建築物の除去及び道路拡幅を進める。
 これらの事業実施により、計画期間の最終年度である平成34年度において目標値の達成を目指す。